

2012年12月23日週の情報

●農業環境技術研究所を訪問(12月28日)

霊山プロジェクトでの水田除染作業方法について、関連文献調査、講演等の聴講を進めております。この度、農業環境技術研究所から発表されている「土壌－植物系における放射性セシウムの挙動とその変動要因」の論文につき、筆頭執筆者である山口様からお話を伺うことが出来ました。放射性セシウムの挙動、水田の除染についてかなり内容が深く多岐に渡った記載が有り、実際にお話を伺い大変勉強になりました。霊山プロジェクトの今後の進め方について、示唆に富んだヒントを得ることが出来ました。山口様、本当にありがとうございました。



農業環境技術研究所での打合せ



質疑している尾園副代表(右側)と富成会員(左側)

●霊山プロジェクトの実務者会議開催(12月25日)

今年最後の下小国での実務者会議が12月25日(火)に開催されました。薄日が差していましたが、時々雪が舞う寒い中で、普通は春に行われる代かきをおこないました。試験水田での空間線量率の計測、サンプリング済の土壌・草類の遮蔽ボックス内での計測、水田の掘り返し、竹炭散布、代かき水の引水、代かき、汚泥水のサンプリングを実施しました。貴重なサンプルが得られましたので今後分析を行い、次回2013年1月26日プロジェクト会議でレビューする予定です。



薪ストーブを囲んでの作業前打合せ



試験水田での空間線量率の測定



寒い中での代かき。大波さんご苦労様！



代かき後の汚泥水のサンプリング。貴重です



メタガス発酵槽ではこれから柿の投入が始まります。どのくらいガスが発生するか楽しみです



お昼休みは地元名物団子汁をごちそうになりました。冷えた身体が温まりました。光子さんありがとうございました！

● 霊山プロジェクトの実務者会議開催(12月25日)

毎月掲題プロジェクト会議を開催しておりますが、今年最後の下小国での実務者会議が12月25日(火)に

開催されます。寒い中での試験水田での除染代かき、放射能測定、新設バイオガス実証装置の点検及び冬場対策などが予定されております。結果は後日 HP 上に掲載致します。

●「再生可能エネルギーの現状と将来について」尾園副代表理事が講演(12月21日)

(社)配管技術研究協会の依頼により、12月21日 REPA 尾園副代表理事が掲題講演を行いました。内容は、①日本が抱えるエネルギー課題と再生可能エネルギーへの期待、②再生可能エネルギーとは：分類と特徴、構造、③日本と世界の再生可能エネルギーの現状と将来、④日本の再生可能エネルギーの法制度の変遷、⑤技術的課題と今後の展望、⑥再生可能エネルギー発電容量の予想、⑦日本の気象条件、地理条件にあった再生可能エネルギー、でした。

約30名の比較的若手の技術者が多く参加され、再生可能エネルギーについて認識をさらに深めたことと思います。



(社)配管技術研究協会平成24年度第三回講習会での写真

(社)配管技術研究協会は50年以上の歴史が有り、毎年4回程度講習会を開催しているようで、当日午前中は磯子火力発電の現場見学会でした。

2012年12月16日週の情報

●大沼光子さん「未来館フェスティバル」で当協会の活動を紹介(11月23日)

霊山プロジェクトの現地リーダーである大沼豊さんの奥様の光子さんは、11月23日～24日に福島市で開催された「未来館フェスティバル」で、県北地盤青の会を代表してリレートークに参加し、席上、「小国地区の除染状況」について講演し、メタン発酵を活用した当協会との共同作業について報告、多くの方の関心が寄せられました。



●エコプロダクツ2012出展(12月13～15日)好評裡の内に終了！！

エコプロダクツ2012が12月13～15日で東京ビッグサイトで開催されました。総来場者数は178,501人とこのことで昨年より若干少なかったようですが、以前、環境に対する関心は高いものです。

当協会は第4ホール N-12ブース(2間)にて、当協会の活動概要、霊山プロジェクトのメタン発酵と水田除染の活動の紹介、ならびに、小中学生向けの触って理解する環境教材の陳列しました。毎日いろいろな方々が、再生可能エネルギー、メタン発酵技術、水田除染活動に感心を持たれ訪れ、また多くのチャンネルができました。大切にしていきたいと思えます。ブースでのパネルは近々当ホームページ「エコプロダクツ」に掲示予定です。



REPAブース会場前の尾園副代表理事



環境教材に興味を示すご婦人団体。説明は野澤副代表理事



メタン発酵PJを説明している富成正会員



環境教材に興味を示すヤングガールを前に張りきって説明する富成正会員

●伊達市が特別勸奨避難地点の指定解除(12月14日)

当協会がバイオガス製造実証実験および水田除染事業を展開している福島県伊達市の大沼 豊さんから、現地の情報を伝えていただきました。伊達市は、特別勸奨避難地点の指定を受けていましたが、全市の指定が12月14日付けで解除になりました。除染作業などにより、放射線量が基準以下となったことを受けての措置です。大沼さんは、これまで自宅周辺で行われた除染作業の様態を撮影し、写真を送っていただきましたので以下に掲載致します。

2012年12月9日週の情報

●エコプロダクツ2012出展(12月13～15日)好評開催中！！

エコプロダクツ2012が12月13～15日で東京ビッグサイトで開催中です。当協会は**第4ホール N-12**ブース(2間)にて、当協会の活動概要、霊山プロジェクトのメタン発酵と水田除染の活動の紹介、ならびに、小中学生向けの触って理解する環境教材の陳列をしています。毎日いろいろな方々が、再生可能エネルギー、メタン発酵技術、水田除染活動に感心を持たれ訪れております。



REPAブース会場前の尾園副代表理事



環境教材に興味を示すご婦人団体。説明は野澤副代表理事



REPAがお世話になっている三井物産のブース

●第五回放射能の農畜産物等への影響についての研究報告会へ富成会員参加(12月8日))

霊山プロジェクトメンバーである当協会富成会員が、12月8日東大で開催された標記報告会に参加しました。特に根本先生と溝口先生の講演は我々の活動とも密接に関係しているので必見です。

- ①放射線セシウムの稲への移行(根本教授)
- ②飯館村の水田における農業土木的土壌除染法(溝口教授)

詳細は会員 HP に掲載予定です。

2012年12月2日週の情報

●エコプロダクツ2012出展(12月13～15日)・・・再掲

いよいよ、エコプロダクツ2012が12月13～15日で東京ビッグサイトで開催されます。当協会は**第4ホール N-12**ブース(2間)にて、当協会の活動概要、霊山プロジェクトのメタン発酵と水田除染の活動を紹介します。是非お立ち寄りください。当期間で環境省主催のセミナーも合わせて開催されます。ご興味のある方は申し込んでください。先着順のようです。以下抜粋です。

「本年10月に本格施行となった環境教育等促進法を踏まえ、環境省は環境人材育成コンソーシアム(EcoLeaD)^{*}と連携して、企業の経営者層、環境や調達等の実務担当者などを対象に環境教育を実施しております。今後以下のようなセミナー、交流会、研修を開催いたします。」

●会員の名刺作成について(12月7日)

会員専用 HP の「庶務事項」のページをご参照ください。

●エコプロダクツ当番表(12月7日)

会員専用 HP の「庶務事項」のページをご参照ください。

●REPA情報交換会開催(12月5日)

情報交換会が12月5日(水)18:30～20:00、REPA 事務所番町ハイム101号室にて開催されました。話題提供は日本工業大学大学院生執賀君さんによる「福岡県大木長町のバイオガス化施設の運転状況」でした。当該施設は運転されて6年経過しており、いろいろな分析をしたデータ・問題点が紹介されました。この結果を参考にして、宮代町のバイオガス化事業の実現に取り組む予定とのことでした。



右側マスクをしている人が発表者の執賀君

この検討結果の紹介等が、2013年3月2日(土)日本工業大学 LC センターで開催される「宮代・まちづくりシンポジウム 農業工業商業連携で創るエネルギーの未来 ～若者たちからの提案～」でなされます。是非ご予定ください。

